

絶好調!

あと一粒の涙で
一言の勇気で
願いが叶う
その時が来るって

僕は信じてるから
君も諦めないでいて
何度でもこの両手を
—あの空へ—

「あとひとつ」 蕾 (つぼみ)

職員玄関前にある池の周りにイチヨウの木が並んでいます。ついこの間、黄色く色づいた葉を一斉に落として、冬枯れの木立となったその中でもひとときわ大きいイチヨウの木のすぐ下あたりに梅の木があります。武道館側に紅梅、生徒昇降口側に白梅があったことに、つい最近気づきました。今までその存在すら気づかなかったのですが、ここ数日、紅梅と白梅の蕾が今にも咲きそうなほど膨らんできていて、そこだけ鮮やかな原色が浮き立つようです。きっと今までは、蕾も春をじっと待っていたのでしょう。

今日と明日、4月に入学する新入生の体験入学があります。本校の生徒はほとんどがこの体験入学を経験しています。小学校6年生の時、緊張した面持ちでドキドキしながら校門をくぐり、初めて中学校の校舎内に入った数年前のその日には、やはりこの蕾が迎えてくれていたことでしょう。

昨日19日は、公立高校の前期選抜試験の発表がありました。前回この紙面でお伝えした通り、毎年前期選抜は非常に厳しい倍率で、本校の今年の合格者も受験者の4割程度でした。

後期選抜では前期と同じ高校に出願してもいいし、違う高校に出願してもかまいません。あさって金曜日はもう後期選抜の出願日なので、あらかじめ前期はA高校に出願するけれど後期を受けることになったらB高校に出願する、と決めている生徒もいますし、2回とも同じ高校に出願する、と決めている生徒もいます。もちろん、当初の予定を変える生徒も結構います。後期選抜試験は来週の木曜日に行われ、3年生の半分くらいが受験します。

子ども達は、ここでまたひとつ大きな壁を越えなければならない、ということになります。「頑張れ!」と言いたいのですが、もうすでにほとんどの人が頑張っていると思います。だから、「最後まであきらめない」と言いたいと思います。

中には「もう時間が足りないからムリ!」と思っている人もいるかもしれませんが、しかし、今まで過ごしてきた期間の中で、これからの一週間が一番密度の濃い一週間になるのです。

人間は、緊張感やプレッシャーを感じている時の方が、平常時よりたくさんの情報を処理できるそうです。これからの一週間は、おそらく今までで一番たくさんの内容を記憶できる期間になります。その上、記憶が薄れる前に試験の当日が来るわけですから、記憶した内容が確かなまま試験当日を迎えることもできるはずです。

部活動でも、試合や大会が近づくほど緊張感が高まりますが、実力は加速度的に伸びていくものです。そして力を出し切れた時、結果は後からついてきます。逃げずに勇気を持って立ち向かう者にこそ、満足できる未来が開けます。

大切なのは「あきらめない」こと。そして「最後までやりきる」ことです。

蕾は必ず春が来ることを知っています。3年生も今は蕾と同じ時を過ごしています。あと少し、もう少しです。応援することしかできませんが、最後の最後まで応援しています。